

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 3月 23日

事業所名 ドーユーラボなは

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	1	・全ての児童の動きが見えやすい環境になっている ・相談室も十分な広さを設けている	これからも換気・環境整備に努め過ごしやすい環境を作り、維持します
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0	適切である	送迎時に職員が手薄になるので、事故がおこらないよう気をつけます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	0	4	各箇所段差がある	小さな段差等配慮が必要な部分を改善していきます
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	0	会議等を開催し、問題を共有・検討する場を設けている	今後も定期的に会議等を開催し、職員が広く意見が述べられるようにします
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	0		保護者の意見を今後の支援や活動の参考にします
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	0		ホームページで公開する予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	0	外部から意見を聞いたことはない	可能な限り外部評価を受けられ環境を整えていきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	・オンライン研修に参加している ・研修に参加できるよう体制を調整している	研修などの情報は今後も集めていき、参加していきます

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	ケース会議を持ち児童の変化を共有し、対応を検討している	会議では意見が述べやすい環境作りを行います
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	0	・標準化されたアセスメントツールを活用している	標準化されたアセスメントツールを参考に施設に通う児童に合わせた内容で今後も行なっています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	チームを作り、様々な活動に取り組んでいる	今後もチームの維持と内容の振り返りを行います
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0	活動は毎回違う内容に取り組んでいる	曜日別チームによってプログラムが変わり、事前に共有することで状況に合わせることができています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	1	休日開所の時は平日に対応できない活動に取り組んでいる	外出等を積極艇に提案し、実行していきたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	児童の状況の応じて計画書を作成している	今後も児童の状況に応じた内容で計画書を作成します
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	・活動は役割を分担し取り組んでいる ・支援の必要な児童は事前に職員間で共有している	引き続き対応して行きます
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	0	・児童の様子に変化が見られたときは職員間で共有している ・毎日、必ずできてはいないが、振り返りや起きた問題はデータとして残している	支援の振り返りを安定して実行できるよう業務内容の見直しを行います	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	・児童の対応や児童の様子を記録している。 ・個別支援で取り組んだことも記録に残している	引き続き対応して行きます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	2	0	・事業所申し送りで児童の様子を共有している ・ケース会議などを開催し見直しの必要性を判断している	児童支援の内容等を職員でモニタリングを行い必要に応じてサービス計画の見直しを行います
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	0	0		児童に合わせて取り組めるよう検討します
関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	・児発管が参画しているが、直接支援に関わっている職員が参画することもある	今後も直接支援に関わる職員が参加できるようにしていく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	2	0	・保護者とLINEで情報共有を行っている。 ・一部児童は送迎の際に児童の様子を確認している ・HPなども確認している	・送迎時に学校行事や下校時間の変更がないか確認を行います ・学校でトラブル等の申し送りを受けた際は事業所でも様子観察を行い保護者に申し送ります
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	0	対象児童がいない	対象児童がいた際は対処します
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	3	2	該当児童がいない	対象児童がいた際は対処します

係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	1	対象児童はいない	対象児童がいた際は対処します
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	0	機会があれば参加している	今後も研修に参加できるよう調整いたします
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	0	3	公園に行った際は地域の児童と関わっている	今後は公園活動の他に児童クラブ等との交流も予定している
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4	1	機会があれば参加したい	協議会等への参加はできていませんが、今後は参加をしていきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	・送迎時や支払いの際に保護者と共有する時間を設けるようにしている ・児童の日々の活動の様子をLINEで保護者に報告している	今後も送迎時やLINE等で児童の状況を伝え、共有理解ができる関係性を作っていきます
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	1	・ペアレントトレーニング等の支援は行えていないが、支援できるようにしていきたい	保護者への助言や支援などができるよう努めていきます
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	・契約の際に保護者に説明を行なっている ・利用者負担額については請求書に明細を載せている	疑問に思ったことや確認したい事項があった際は迅速に対応いたします	

保護者への説明責任等

31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	・保護者から相談があった際は対応している ・相談を聞く時は環境に配慮している	これからも保護者からの相談に対応できる環境を整えていきます
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	2	コロナ禍により中止していたが再開したい	保護者からも要望があるので実行できるよう検討します
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	0	・苦情解決の体制を作っている ・保護者にも体制の説明を行なっている	児童や保護者から苦情・要望等があった際は面談を行うなど適切に対応致します
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	0	活動の様子を新聞で保護者に報告していた。 活動の様子をSNS等で発信している。	報告が不定期になっているので定期的に報告できるよう体制を整える
35	個人情報に十分注意している	5	0	0	鍵付きのキャビネットで保管している。 個人情報の取り扱いについては慎重に対応するよう職員間で共有している	今後も個人情報の取り扱いは慎重に行うよう職員間でも徹底して参ります
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	送迎時に児童の様子を報告してたり、保護者に家での様子を聞いたりしている。 活動の様子をLINEでも報告している。	送迎時に児童の様子を報告したり、確認等を行なっています。家庭によってはLINEやメールなどのツールも活用していきます

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	4	実施していない	今後、開催できるよう検討していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	0	緊急時のマニュアルの共有が出来ていない	マニュアルの共有に努めます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	3	1	全体での訓練が実行できていない	次年度は全体訓練をが実行できるように計画します
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	0	虐待に関する研修の実行回数が少ない	次年度は虐待の研修を増やして行きたい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3	0	身体拘束が必要な児童がいない	身体拘束の必要な児童がいた際は児童や保護者と十分な協議の上対応致します
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	2	3	0	対象児童はいないが、対応していく	食物アレルギーの児童がいる際は医師の指示書に基づき対応致します
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	ヒヤリハットは職員間で共有後ファイルで保管している	ヒヤリハットが発生した時は職員共有を行っているので、今後は検討会議を開催し、事前対策に努めたい